



JSPO
Japan Sport Association

Press Release

2025年1月14日

第1回日韓中青少年冬季スポーツ交流を開催！ 日本選手団を韓国へ派遣します

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSPO(正式名称:公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区/会長 遠藤利明)は、令和7(2025)年1月19日~24日に韓国・ソウル特別市/京畿道/江原特別自治道で開催される第1回標記交流に、北海道から選出された中学生年代の選手、指導者を中心とした日本選手団133名を派遣します。

本交流は日本、韓国、中国の政府間で1年おきに開催される「日中韓スポーツ大臣会合」での「3か国間の交流協力の拡大」の方針を踏まえ、従前日韓両国で行ってきた日韓冬季スポーツ交流(※)に、中国が加わり新たに開催することとなりました。

なお本交流は当初、令和3(2021)年度に第1回の開催を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等により延期となり、この度、記念すべき第1回を開催することとなりました。

※日韓冬季スポーツ交流は平成14(2002)年度から令和2(2020)年度まで実施。

[令和元(2019)年度の受入交流および令和2(2020)年度の派遣/受入交流は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止]

・過去交流の主な参加選手:

高木 菜那 さん

(平昌2018冬季オリンピックスピードスケート女子団体パシュート・マススタート金メダリスト)


李 相花 さん

(バンクーバー2010・ソチ2014冬季オリンピックスピードスケート女子500m金メダリスト/韓国)

<2019年日韓交流時の様子>



■実施概要

1.名称	第1回日韓中青少年冬季スポーツ交流
2.期間	令和7(2025)年1月19日(日)~24日(金) 6日間
3.開催地	スケート:ソウル特別市 カーリング:京畿道 スキー・アイスホッケー:江原特別自治道
4.参加人数	<派遣交流> 日本選手団:133名 日本選手団団長:森岡 裕策(JSPO 専務理事)
5.実施競技	4競技6種目 スキー(アルペン/クロスカントリー)、 スケート(スピード/ショートトラック)、アイスホッケー、カーリング
6.添付資料	実施要項・全体日程(予定)
7.その他	・本交流はスポーツ庁国庫補助事業/スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業です。  ・北海道内から推薦された選手の中には、全国中学校大会の入賞者などの実力者もあり、今後の活躍が期待されます。 ・本交流を通じて、3か国の選手が、自らの技術を磨き合うとともに、競技横断的な交流が図られることを期待しています。

◆JSPO(公益財団法人日本スポーツ協会)について

JSPOは、1911年7月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018年4月1日、現在の名称となりました。

JSPOでは、国民スポーツ大会(旧 国民体育大会)や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。

また、わが国スポーツの統一組織として、国や60を超える競技団体、47都道府県スポーツ協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

▶ ホームページ <https://www.japan-sports.or.jp/>

▶ 事業概要パンフレット

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid57.html#09> (通読約15分)

▶ JSPO 中期計画 2023-2027

<https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid149.html#01>

We support sport in Japan

JSPO OFFICIAL PARTNER

